

## 総務委員会事業報告

### 1. 概要

総務委員会は、主に日本ばね工業会運営上の特命事項の解決にあたっている。

2022年度の委員会は新型コロナウイルス感染症により、オンライン会議（WEB審議）と実開催とで、年4回の委員会を開催した。

また、会誌広報・規程改定の二つのワーキンググループ活動も終了し、課題等は事業企画ワーキンググループに引き継ぐこととされた。

#### (1) 委員会開催

	日時・場所	出席	主な議事
第1回	2022年 5月11日(水) オンライン会議 13:00～13:55	委員13名 他4名	報告事項 1. 第50回理事会報告 2. 事業企画定WGワーキンググループの件 審議事項 1. 2021年度総務委員会事業報告の件 2. 委員会委員選任の件
第2回	2022年 7月13日(水) ホテル メルパルク大阪 15:00～16:35	委員10名 他3名	報告事項 1. 第51回理事会報告 2. 第11回社員総会報告 3. 第52回理事会報告 4. ワーキンググループの件
第3回	2022年 11月9日(水) ホテルルブラ王山 15:00～16:15	委員12名 他3名	報告事項 1. 第53回理事会報告 2. ワーキンググループの件 審議事項 1. 2023年機関誌ばね年間計画の件 2. 2023年度総務委員会開催日程等の件 3. 第12回社員総会及び関連行事開催日程等の件
第4回	2023年 2月22日(水) 13:00～14:20 オンライン会議	委員12名 他4名	報告事項 1. 第54回理事会報告 審議事項 1. 規程改定WG及び会誌広報WGまとめ 2. 2023年度会費収入見込み及び支部交付金の件 3. 2022年度総務委員会事業活動実績報告の件 4. 2023年度総務委員会事業計画・予算概要の件

#### (2) ワーキンググループ活動

##### ①事業企画WG活動報告

事業企画WGの発足に際して、工業会の現状、およびWG活動の参考となる事例を専務理事から報告し、今後の方向性と進め方の意見交換を実施した。

開催会議

会議体	開催日時、概況・内容	参会者
第1回会合	日時： 2022年4月14日（木） 13:00～15:00 場所： アルカディア市ヶ谷（東京） 内容： 日本ばね工業会の事業状況を俯瞰できる資料 ①日本のばね産業の現状（2022年度版） ②コロナ禍における日本ばね工業会の事業運営（基礎データ） ③年間行事一覧表（本部・3支部）（2022年度） ④費用実績（会費収入、支出：人件費/事務所費/事業運営費） ⑤会費ランク、会費収入の分布（ヒストグラム） ⑥委員会組織・名簿、委員会規程 ⑦事務局職員 給与規程内規	林委員長 渡辺副委員長 増田副委員長 中谷専務理事
第2回会合	日時： 2022年10月24日（月） 15:00～17:00 場所： 安保ホール（名古屋） 内容： 新規事業活動、WG活動時の人員確保 ①標準化事業（標準化会議・活動）の経緯、背景 ②標準化事業の運営体制、担当・工数確保	林委員長 渡辺副委員長 増田副委員長 中谷専務理事

②規程改定WG活動報告

(1)はじめに

総務委員会 規程改定 WG 活動では 2019 年度活動指針の一つとして、工業会本部、支部の各規程類の運用ルールと活動内容の適正化を念頭に、運用状況を確認してきた。一方、会議体の開催がコロナ禍で WEB 開催となることが多く、現状把握が進んだ一方で、十分な議論が尽くせた状況ではない。今回、事業企画 WG に活動を引き継ぐ一環として、総括を実施した。

(2)WG 活動の概況

会議体	目的（主旨）	議題
第1回	規程類の運用ルール、活動内容の適正化	本部&支部規程類の整備状況、整合性
第2回	同上	支部運営規程の整合性と改定検討
第3回	活動の進捗・検討状況の情報共有	支部総務委員会運営規程（3支部）整合性 慶弔見舞規程（本部&3支部）整合性
第4回	東部支部の改定案、規程類一覧の紹介	東部支部総務委員会運営規程の見直し
第5回	支部運営規程類の見直し、進捗確認	規程類の電子ファイル化、体裁整理（案）
第6回	進捗状況の総括（まとめ）	慶弔&表彰規程（本部&3支部）対比一覧表

### (3)WG 活動の統括

今回、本部と支部、各支部間の規程類の整備状況と整合性について実態を確認した。その結果、工業会の規程類運用に際して、大きな支障が生じている状況にはないと判断する。

支部に一部規程が整備されていない状況もあるが、本部規程および各支部規程を都度参照、整合性を確保している。

WG 活動の開始前に認識、懸念されていた規程類と事項は、下記の表 1 の通りである。

表 1：支部規程類の整備状況と整合性

支部規程類	確認事項・整合性
慶弔見舞規程	地域性（支部）への配慮（慶弔慣習）、事業活動への参画に相違
表彰規程	東部（規程なし）、表彰の種類・実態の把握
支部運営会議規程	支部の独自性、地域性の考慮、語句・文言の統一（必要あり）
支部協賛会規約	運営実態の更なる把握が不可欠

### (4) 事業企画 WG への引継事項

規程改定 WG の活動内容と成果の情報共有、今後の進め方（法務チェックの可否検討）

### (5) その他（所感：専務理事）

当初の規程改定 WG 活動では、規程類の一元化、ならびに整合性確保を視野に入れて実施していた。

しかし、改定には各支部の事業環境、地域性、慣習に配慮する必要性があることも判明した。一方、規程類が未整備で判断に迷う場合には、本部と 3 支部間の対応状況を適宜、問い合わせして反映させており、実務上の支障がないことも確認した。

表彰の実態把握を通じて、3 支部間の相違を確認した。一方、委員会活動の委員派遣では会員企業の認識に差があると感じている。特に、会社業務の一環として実施する場合、技能検定事業の受託業務として実施する場合の認識は、3 支部間で差異を確認する必要がある。

関係省庁、各都道府県が管轄する表彰に関する運用が把握できたことで、受賞に繋がる積極的な表彰推薦を検討実施していく。

## ③会誌広報WG 活動報告

(1)活動期間：2019 年 12 月～2022 年 11 月（会合開催 8 回/3 ヶ年）

(2)メンバー：東部支部・・・片平委員、中野委員、増田委員（現 規程改定 WG）  
西部支部・・・渡辺委員、廣瀬委員（退任）  
中部支部・・・小菅委員、林(博)委員、藤田委員→高井委員（変更）、  
林(俊)（記）  
オブザーバー・・・中谷専務理事、須田部長、各支部事務局長

(3)目的：総務委員会所管の広報事業について、問題点・改善点を集約し広報事業(活動)を効率よく充実させることを目的とする。

#### (4) 取り組み内容

- ・機関誌ばね 発行頻度の見直し 6回/年 → 4回/年  
巻頭言の持ち回りルール化（西部→東部→中部）  
「工場訪問記」→「会社紹介」への記事変更（全会員会社の参画）  
東部支部・・・各委員会行事の出稿を各々の主催組織が担当  
中部支部・・・会誌広報部会の新設とレクリエーション部会の増員  
協賛会員、賛助会員への広告募集の案内掲載（毎号）+1回/年広告  
募集のレターを発信  
＜課題＞ Web化によるコスト削減
- ・プロフィール 発行頻度の見直し 毎年 → 隔年（除く 役員改選時）  
＜課題＞ ページ数削減、英文化
- ・生産月報の調査対象会社 各支部での実情の把握、一定基準の設定  
工業会全体としてより多くの会員企業から情報収集  
＜課題＞ 集計業務の合理化・調査対象会社拡大(ex. Google フォームの活用)  
工業会全体での入力項目の統一
- ・海外視察団  
＜課題＞ 目的の明確化による訪問先・参加者の選定
- ・ホームページ メンテナンス会社決定による改修費用等の確定  
＜課題＞ 掲載内容の見直し(ex. 過去データのグラフ化)、ルール化  
アウトソーシングの検討(予算確保)←メンテナンス負荷(事務工数・必要  
工数)の把握
- ・海外事業概況調査 調査項目の見直し（従業員数、年間先上高の削除）  
＜課題＞ 正会員会社の回答率向上(現状 60%前後止まり)  
目的の明確化、調査項目の簡素化、集計時期の見直し等
- ・今後の進め方

事務局の合理化案として書類の配布廃止～メール配信や集計業務の紙ベースから Web 上での各社への依頼等の意見が多数あり、ばね工業会全体での DX 推進を図る。

上記(1)の実現と共にアウトソーシングという手段も考えられるが、まずは各業務に関わる実情(工数)把握と予算についてのあり方・見直しを進める。→ 以上の観点から課題を事業企画 W/G に引き継ぐ。

### (3) 国際交流事業

国際交流事業	海外ばね関連行事 名称・内容
ESF	<b>【欧州ばね工業会 (ESF)】</b> ・国際会議 International Spring Makers Conference 日時：2022年6月22日 場所：ドイツ (デュッセルドルフ) 内容：①各国のばね産業の現状報告 (PowerPoint 資料) ②ISO/TC227 ばね 進捗状況の報告
ISO/TC227	<b>【ISO/TC227 ばね】</b> ・第18回国際会議 日時：2022年11月9日～11日 場所：Web 開催 参加国：10か国 内容：①冷間成形引張コイルばね試験法 ②冷間成形ねじりコイルばね試験法
ANCCEM	<b>【イタリアばね工業会 (ANCCEM)】</b> ・創立50周年記念式典 日時：2022年10月1日 場所：イタリア (ミラノ)
その他 (VDFI/SMI)	交流窓口 (担当) の変更 <b>【ドイツばね工業会 (VDFI)】</b> 専務理事： Wolfgang Hermann → Michael Hagedorn <b>【米国ばね工業会 (SMI)】</b> 専務理事： Lynne Carr → Gary McCoy

### (4) 広報事業

機関誌ばねを4月・7月・10月・1月の4回発行するとともに、ホームページにも記事を掲載した。

機関誌ばねの広告 (賛助会員及び協賛会員等向け) を募集した。

工業会プロフィール2022 (日文・英文併記) を発行した。

政府広報等の会員へのPR・情報は機関誌ばね及びホームページを通じて都度実施した。

以上